

本計画では、基本理念である“次世代へつなぐ、くらし支える下水道”を踏まえ、下水道事業における課題に対応していくため、4つの基本方針を掲げ施策を展開していきます。

基本方針

I 安全・安心なまちづくり

下水道は市民の生命や財産を守る重要なライフラインです。下水道施設の老朽化や災害等へ対応するために施設機能の維持・向上を図っていくとともに、市民や流域自治体等と災害への体制を整えることで災害に備え、安全・安心なまちづくりに貢献します。

II 良好な環境への貢献

本市では都市化の進展等により、本来流域が有していた水収支が崩れつつあることから、市民や事業者等との地下水の涵養による健全な水循環の創出をはじめとし、水質保全や臭気対策、エネルギーの利用等の視点を含めた様々な取組みを進めていくことにより、良好な水環境・生活環境に貢献します。

III 持続的な下水道経営基盤の確保

使用料の減収による収益の悪化や施設改築時期が一斉に到来するなど、今後の下水道事業の経営は厳しさを増すことが見込まれます。長期的な視点を持ちながら費用の縮減や財源の確保を図るとともに、技術系職員の減少傾向を踏まえて執行体制の強化を行うことにより、持続的な下水道事業に向けた経営基盤の確保を図ります。

IV 市民・事業者等とのパートナーシップ

これからの下水道は、市・市民・事業者等が下水道を自らの財産として捉え、それぞれの役割を認識した効果的な事業展開を図るために、下水道の重要性の理解を深める普及啓発を進めていき、パートナーシップの向上に取り組めます。

「現状と課題」と「基本方針」の関係について

課題に対する具体的な施策（第3回以降で議論）が、どの基本方針に該当するかについて下表に示しています。

現状と課題 \ 基本方針	I 安全・安心な まちづくり	II 良好な環境への貢献	III 下水道事業の 経営基盤の安定化	IV 市民・事業者等との パートナーシップ
1.1 汚水処理	○			
1.2 雨水排水	○			○
1.3 施設の適正な管理	○			○
1.4 災害対応	○			○
2.1 水循環		○		○
2.2 水質の保全		○		○
2.3 臭気対策		○		○
2.4 エネルギーの活用		○		
3.1 下水道事業経営			○	○
3.2 執行体制・人材育成			○	
3.3 新技術の活用			○	
4.1 市民理解の促進	○	○	○	○